

備前市事務事業評価表

事務事業名	表彰事業	コード	担当課	秘書係
		06-01-13-01	担当者	山台 智子
事業実施期間	昭和46年4月1日～			
総合計画 事業（政策）体系	大項目	健全で自立したまちづくり		
	中項目	簡素で効率的な財政運営		
	小項目	その他事務管理		
	施策	秘書		
電話	0869(64)1800			

事業について	
目的	政治、経済、文化、社会その他各般にわたって市の振興に寄与し、又は市民の模範と認められる行為があった者を表彰し、もって市勢の振興を促進することなど
対象（誰のために）	行政委員・文化貢献・公共事務及び公共事務ほう助など、市勢の振興に寄与した者、市民の模範と認められる者など
内容	功労表彰・善行表彰、栄典関係（自治功労関係の叙勲・褒章候補者の推薦等）

事業の結果									
実施項目		17年度							
		回数など	(単位)	回数など	(単位)	回数など	(単位)	回数など	(単位)
表彰者選考委員会		1	回						
功労表彰		7	人						
善行表彰		2	人						
叙勲・褒章推薦回数		9	回						
事業費		事業費		財源		事業費		財源	
(単位：千円)		直接事業費	581	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
		人件費	1,870	受益者負担		人件費		受益者負担	
		市債		市債		市債		市債	
合計		2,451	一般財源等	2,451	合計	0	一般財源等	0	合計
必要人員		0.20	人						
結果指標①	結果指標名	善行・功労表彰件数							
	結果指標量	9							
	単位	件							
	対前年比	—							
結果指標②	事業費	1,187,000	円			円			円
	単位当たりコスト①	131,889	円			円			円
	結果指標名	善行・功労表彰式							
	結果指標量	1							
	単位	回							
	対前年比	—							
	事業費	703,000	円			円			円
	単位当たりコスト②	703,000	円			円			円

事業の成果			
成果指標名	善行・功労表彰件数>0	式又は説明	善行・功労表彰件数の増加だけが成果ではないが、事業の目的・対象の観点から、表彰者がいることが望ましい。
成果指標量	9		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	なし	到達目標年度	なし

事務事業の評価		(平成17年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 備前市表彰条例	課題認識 善行・功労表彰については、備前市表彰条例等に規定されているものであり、目的は妥当である。また、対象者についても功績のあった方々であり、それぞれの賞において選考の結果選ばれている。
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	事業の目的・対象に鑑みて、市が表彰・推薦することが妥当である。強いて言うならば、表彰者の推薦・選考について、今後においても、より厳正な運用を行っていくことが必要とと思われる。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	栄典事務（自治功労関係）については、国の制度であり、国の示す基準に沿って、地方自治に功労のあった候補者を推薦するものである。
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	事業費の増減は、大半が善行・功労表彰者に対する記念品等によるものであるため、新市発足にあたりその見直しを行い、経費の削減に努めた。
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	推薦にあたっては、庁舎内各課から内申書の提出を受けている。
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい	
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	成果指標の目標値は、事業の目的からして設定することが難しいが、受賞者については、功労・善行表彰式や広報紙で市民に公表するなど、目的は達成しつつある。
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

総合評価		事業の目的等は妥当であり継続することが望ましい。	評価区分 <A~E>
コメント			C

今後の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する（行政資源を集中的に投入する） <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	表彰件数>0
結果指標量②	1
目標値	表彰件数>0

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	推薦・選考の厳正な運用	平成18年度～	表彰者数の平準化、事業費の削減

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。